

## 駆け廻し式底曳網におけるズワイガニとアカガレイの分離

宮嶋俊明・亀井寿敏・青木洋一

(京都府農林水産技術センター海洋センター)

ズワイガニ *Chionoecetes opilio* はその漁期外に、アカガレイ *Hippoglossoides dubius* 等を漁獲の対象とした底曳網漁業で大量に混獲、投棄されている。このような混獲、投棄を回避するため、堀江ら<sup>2)</sup>は、越前沖合で操業する小型底曳網を対象とし、入網したズワイガニとカレイ類とを分離して漁獲することができる漁具を開発した。しかし、底曳網漁業に用いられている網の形状は様々であり、網の改良にあたっては、地域ごとの網の形状や操業形態等に留意する必要がある。

そこで、京都府沖で用いられている網をベースに堀江ら<sup>2)</sup>のシステムを取り入れ、ズワイガニとアカガレイとを分離漁獲する改良網 (Fig.1) の開発試験を実施した。<sup>3)</sup>

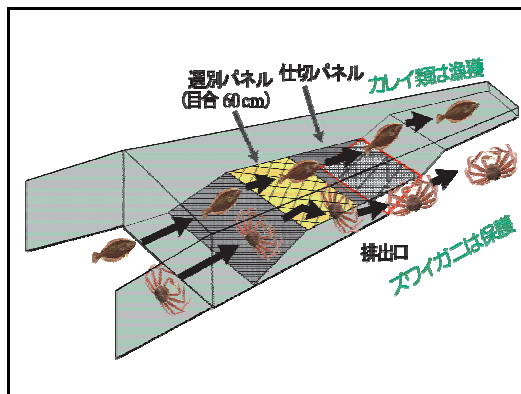


Fig.1 改良網の模式図

開発に際しては模型網による水槽曳網実験や漁船を用船しての実証実験を行なった。その結果、入網したズワイガニの 74 ~ 98% を網外に排出し、アカガレイの 67 ~ 88% を漁獲することができた (Fig.2)。また、選別パネルの高さの維持が効率的な分離に必要であることや、網目選択性はズワイガニに対しては認められるが (Fig.3)、アカガレイには認められないことがわかった。

なお、改良網の導入はアカガレイ・ズワイガニ資

源回復計画のメニューの一つであり、府内の底曳網全船に導入されている。

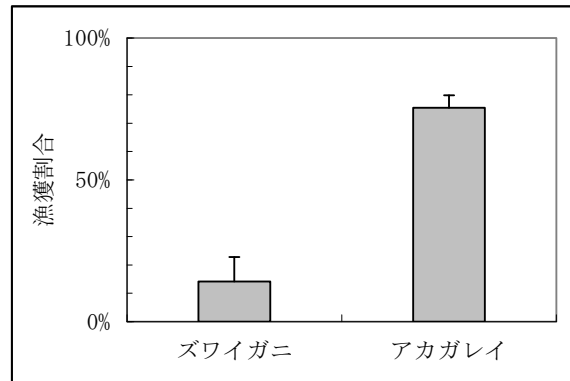


Fig.2 コッドエンドでの漁獲割合

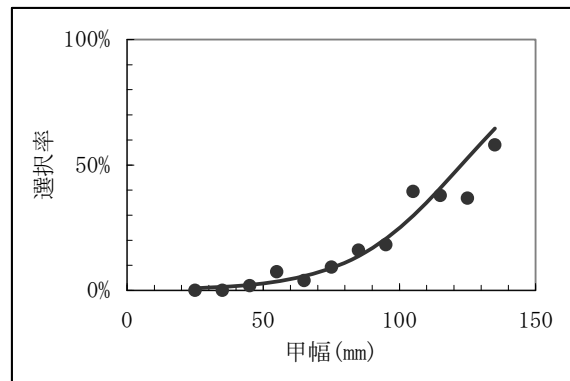


Fig.3 ズワイガニの網目選択性曲線

- 1) 北沢博夫, 大阿久俊郎. 若狭湾における小型底びき網漁業の投棄魚について. 日水誌 1982; **48**: 1089-1093.
- 2) 堀江 充, 安田政一, 橋本 寛. ズワイガニとカレイ類を分離漁獲するかけまわし式底びき網の開発. 日水誌 2001; **67**: 444-448.
- 3) 宮嶋俊明, 岩尾敦志, 柳下直己, 山崎 淳. 京都府沖合におけるカレイ漁に使用する駆け廻し式底曳網の選別網によるズワイガニの混獲防除. 日水誌 2007; **73**: 8-17.